

指導案	生徒の活動	講師の支援
<p>導入</p>	<p>①「ストーリーって、どんな種類があると思う？」から問いを投げる ② ブラコみ問題について、動画やクイズで共有 ③ 講師が「わたしが困ったこと」の実体験を語る ④ 「最近びっくりした身近なモノ」をベアトークで共有</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が「自分にも関係ある」と思える状態にする ・テーマへの興味関心を引き出す ・初対面同士でも安心して発言できる空気づくり ・講師自身が失敗談やびっくり体験などを話し、人間味を出す ・笑いも交えて、安心して話せる空気をつくる
<p>展開</p>	<p>① 米ストーリーの商品背景を資料などで読み解く(グループ) ② 「大切にしたいこと」「心が動いたこと」を個人でワークシート記入 ③ 「どうすればもっとやさしい未来になる？」という問いを立てる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会課題と自分の価値観をつなげて考える ・他者と対話しながら多様な視点を獲得 ・自分の「想い」を言語化する練習 ・「正解はないよ」と伝えて安心して意見できるようにする ・「今の話、おもしろいね！もう少し教えてくれる？」など声かけを意識 ・書くのが苦手な子には「話すだけでも OKだよ」とサポート
<p>まとめ</p>	<p>① 「今日からできるちいさなやさしさ」を 1つアクション宣言 ② ハートマップに「心に残った言葉・気づき」を絵や言葉で描く ③ 感想+「今の自分に問いかけたい言葉」をふりかえりシートに記入</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学びを自分の言葉で整理・内面化する ・「自分にもできる」と思える一歩を描く ・行動は大きなことじゃなくて OKだと伝える ・「ゴミ拾い」「家族にありがとう」も素敵な一歩だと伝える ・「自分らしさ」がにじむアクションになるよう背中を押す